

# 2022 年度シラバス

中学校 2 年



駒沢学園女子中学・高等学校

宗教(2022年度)

単位数	1単位
担当	永井 俊道
教科書	駒沢学園の仏教(駒澤学園) 道徳1(光村図書)
対象生徒	中学2年

1. 授業の目標

駒沢学園の歴史と建学の精神を理解し、仏教主義学校としての理念を学ぶと共に、道徳に替わる教科として宗教に関する一般的な知識と教養を養い、興味関心を高めることにより、現代社会の諸問題に関する考察力を身に着ける。

〔中期目標〕

建学の精神・日々のお唱えの意味と目的を学ぶことにより、駒沢学園がめざす生徒像を理解すると共に、釈迦の生涯を学ぶことにより、仏教の持つ道徳的な考え方を理解し、自分で考え行動できるようになる。

〔長期目標〕

仏教を基盤とした道徳的な理念を理解し、より良き生きるためにどのように行動すべきか考えられるようになる。あわせて、「いのち」について考え、どのように生きていくことが大切か、各自が自分のこととして考えられるようになる。

2. 副教材・参考書

駒沢学園の仏教(駒澤学園)  
道徳2(光村図書)

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習・復習のポイント等

朝礼や終礼・会食でお唱えする「三帰礼文」・「四弘誓願文」・「五観の偈」などを、丁寧にお唱えしましょう。また、式典への積極的な参加や挨拶や清掃など日々の活動を大切にすることが、授業の理解にもつながります。試験に向けては、テキストをきちんと読めるようになっておいてください。

4. 宿題・課題・再試について

宗教科の授業で取り上げる社会の諸問題に関する探究授業では、グループワーク・発表を含みます。

視聴覚教材を見ての、感想や意見などをロイロノートに提出します。

予習・復習課題は、ロイロノートに提出します。

坐禅実習も成績に含まれます。真剣に取り組みましょう。

5. 評価の基準について

- ・ 単元テストの得点(70%)、提出物と坐禅実習(30%)により評価をする。

評価方法	割合	評価基準
単元テスト	70	単元テストの点数
坐禅実習	5	坐禅実習に出席し、集中して座ることができたか
提出物	20	授業ごとのまとめや課題、予習復習内容など
ノート	5	ノートのまとめ方など

- ・ 以下の表のように観点別評価をつける。

	定期試験	定期試験・提出物	提出物・坐禅実習
A	基本的な問題は概ね解くことができる。 70%~100%	思想的問題を解くことができる。論理的に自分の考えを表現できる。	坐禅実習に積極的に参加し、課題にもしっかりと取り組んでいる。
B	基本的な問題が解くことができる。 40%~70%未満	知識を応用して問題を解くことができる。論理的に自分の考えを表現しようと努力している。	坐禅実習に積極的に参加し、多少遅れることもあるが、課題に対して継続的に取り組んでいる。
C	基本的な事項・知識は理解している。 0%~40%未満	応用問題にも取り組む姿勢がみられる。自分の考えを表現しようとしている。	坐禅実習に参加し、課題に対する意欲がある。
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

6. その他

- ・ 授業内容は、実際の授業時間数などにより、順番が前後したりすることもあります。

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	期末	1、「花まつり」について【p52～p56】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「花まつり」が日本の季節の行事としてどのように受け入れられていたかについて学ぶ。</li> <li>・「花まつり」を題材として、「生命の誕生」とは何か、「いのち」とは何か考える。</li> </ul> 2、釈迦の生涯について（1） <ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生から出家までを学習し、釈迦の悩みについて、現代社会での問題と照らし合わせながら考える。</li> </ul> 3、「五観の偈」を通して、現代の食・食育についての問題点などについて考える。           4、「坐禅実習」
二学期	期末	1、「追善記念日」について【p57】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事としての「追善記念日」</li> <li>・「死」とはどのようなことか考える。</li> <li>・日本人は死についてどのように考えたのか、「地獄」・「極楽」などと結びつけながら学習する。</li> </ul> 2、釈迦の生涯について（2） <ul style="list-style-type: none"> <li>・修行から成道までを学習し、釈迦の悩みについて、現代社会での問題と照らし合わせて考える。</li> </ul> 3、「撰心会」と「成道会」について【p58～p61】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事としての「撰心会」と「成道会」</li> <li>・撰心会が日本にどのように取り入れられてきたのか考える。</li> <li>・自分の生きる目的や意義について考える。</li> </ul> 4. 写経・写仏 5、坐禅実習
三学期	学年末	1、「誕生記念日」について【p62～p63】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事としての「誕生記念日」について考える。</li> </ul> 2、「涅槃会」について【p64～p65】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事としての「涅槃会」について考える。</li> </ul> 3、釈迦の生涯（3） <ul style="list-style-type: none"> <li>・釈迦の教えと涅槃までについて学習する。</li> </ul> 4、「山上忌」について【p66～p67】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事としての「山上忌」について考える。</li> </ul> 5、坐禅実習

国語（現代文分野）（2022 年度）

単位数	5 単位の 3
担当	岩本 安代
教科書	国語 2（光村図書）
対象生徒	中学 2 年

1. 授業の目標

「言葉」を楽しみ、文学作品に親しむ気持ちを育てる。

到達目標

- (ア) 本を年間 30 冊以上読み、語彙力・表現力を身に付ける。
- (イ) 漢検 4 級以上を取得する。
- (ウ) 予習をして授業に臨み、学習の習慣を定着させる。

2. 副教材・参考書

- ・国語ワーク（光村教育図書） ・新国語便覧（秀学社） ・セレクト漢字検定 5 級～2 級
- ・新中学問題集 国語 2 年（教育開発出版）

3. 学習を受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- (ア) 予習・復習を宿題という形で随時出すので、生徒たちは必ず宿題を終えた上で授業に参加する。
- (イ) 授業の内容は毎時間明確に提示し、終了時に確認する。
- (ウ) 学習活動・課題は積極的に取り組めるよう工夫する。
- (エ) 提出物は完成した形で、期限を守って提出する。

4. 宿題・課題・再試について

- (ア) 宿題…原則、毎時間出す。  
内容は授業で学習した範囲の復習と次の授業の予習を中心とする。
- (イ) 課題…1 単元終了ごとに単元別試験を実施する。レポート作成などを行う場合もある。
- (ウ) C' Range テストを導入し、漢検 4 級以上の取得を目指して学習とテストを繰り返す。
- (エ) 4 週間に 1 度、新中学問題集を 1 課題ずつ自宅学習し提出する。

5. 評価の基準について

- ・単元別試験、単元まとめ試験の得点(50%)、学力試験(30%)、提出物(20%)により評価をする。
- ・以下の表のように観点別評価をつける。

	基本問題(単元別試験)	応用問題(学力試験)	パフォーマンス(提出物・小テスト等)
A	基本的な問題は概ね解くことができる。	高度な思考力を要する問題を解くことができる。	授業に意欲的に参加。課題にもしっかりと取り組んでいる。
B	基本的な問題が解くことができる。	知識を応用して問題を解くことができる。	多少遅れることもあるが課題に対して継続的に取り組んでいる。
C	基本的な事項・知識は理解している。	応用問題にも取り組む姿勢がみられる。	課題に取り組もうとしている意欲は感じられる。
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

6. その他

C' Range 実施については、以下の通りとする。

- ① 1 週間に 1 度、授業時間内で「セレクト漢字検定 5 級～2 級」内の読み・漢字検定問題演習を Microsoft Forms 上のテストにて実施。
- ② 漢字の書き問題は、新出漢字も含めて毎回の単元別試験に盛り込む。
- ③ 1 週間に 1 度、試験範囲の漢字練習を「セレクト漢字検定 5 級～2 級」に直接取り組み、提出させる。
- ④ 100 点満点、合格点を 70 点以上とし、不合格の場合は適宜課題や補習を課す。

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	期末	<p>ガイダンス            詩『見えないだけ』            小説『アイスプラネット』            話す・聞く 問いを立てながら聞く            書く 多様な方法で情報を集めよう            漢字1 熟語の構成</p> <p>報告『クマゼミ増加の原因を探る』            話す・聞く 魅力的な提案をしよう            文法への扉1 単語をどう分ける？</p> <p>情報社会を生きる            短歌、『言葉の力』            言葉1 類義語・対義語・多義語            情報『メディアと上手につきあうために』</p>
二学期	期末	<p>小説『盆土産』            小説『字のない葉書』            話す・聞く 聞き上手になろう            書く 表現を工夫して書こう            言葉2 敬語            漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字</p> <p>論説『モアイは語る』            書く 根拠の適切さを考えて書こう            話す・聞く 立場を尊重して話し合おう</p> <p>詩『月夜の浜辺』            評論『君は「最後の晚餐」を知っているか』            書く 魅力を効果的に伝えよう            文法への扉 走る。走らない。走ろうよ。</p>
三学期	学年末	<p>小説『走れメロス』            文法への扉3 一字違いで大違い            書く 構成や展開を工夫して書こう</p> <p>言葉3 話し言葉と書き言葉            漢字3 送り仮名</p> <p>書く/話す・聞く 国語の学びを振り返ろう            詩『木』</p>

国語（古典・表現分野）（2022年度）

単位数	5単位の1
担当	岩本 安代
教科書	国語2（光村図書）
対象生徒	中学2年

1. 授業の目標

古典への興味関心を育てる。  
 自分の考えや感想を整理して、文章にする。  
 表現活動を通じて、伝え合う力を養う。

到達目標

- (ア) 古文・漢文を読み慣れる。
- (イ) 百人一首を覚える。
- (ウ) 文法的な知識を得る。

2. 副教材・参考書

- ・国語ワーク(光村教育図書)      ・新国語便覧(秀学社)      ・文法の学習(浜島書店)
- ・小倉百人一首(京都書房)

3. 学習を受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- (ア) 古文・漢文のリズムを体得できるように音読をする。
- (イ) 予習・復習を宿題という形で随時出すので、生徒たちは必ず宿題を終えた上で授業に参加する。
- (ウ) 授業の内容は毎時間明確に提示し、終了時に確認する。
- (エ) 学習活動・課題は積極的に取り組めるよう工夫する。
- (オ) 提出物は完成した形で、期限を守って提出する。

4. 宿題・課題・再試について

- (ア) 宿題…原則、毎時間出す。  
 内容は授業で学習した範囲の復習と次の授業の予習を中心とする。
- (イ) 課題…1単元終了ごとに単元別試験を実施する。暗唱テストなどを行う場合もある。
- (ウ) 4週間に1度、新中学問題集を1課題ずつ自宅学習し提出する。

5. 評価の基準について

現代文分野と合算し評価する。

6. その他

4週間に1時間程度の書写の時間を設ける。 担当教諭：酒井 篤史

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	期末	百人一首 中1の復習 1～15 暗唱 四字熟語・同音異義語 古文『枕草子』 文法（中1の復習） （自立語・付属語・品詞）
二学期	期末	百人一首 16～40 暗唱 四字熟語・同音異義語 古文『平家物語』『扇の的』古文『仁和寺にある法師』 漢詩『漢詩の風景』 文法（名詞・代名詞・動詞）
三学期	学年末	百人一首 41～55 暗唱 四字熟語・同音異義語 文法（形容詞・形容動詞）

国語（講読・演習分野）（2022年度）

単位数	5単位の1
担当	岩本 安代
教科書	指定された図書
対象生徒	中学2年

1. 授業の目標

「言葉」を楽しみ、文学作品に親しむ気持ちを育てる。国語の応用・発展的な力をつける。

到達目標

- (ア) 本を年間30冊以上読む。
- (イ) 読んだ本について感想や意見を書くことができる。
- (ウ) 初見の文章を読み解く力をつける。

2. 副教材・参考書

・新国語便覧（秀学社） ・プリント ・新中学問題集2年

3. 学習を受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- (ア) 学習活動・課題は積極的に取り組めるよう工夫する。
- (イ) 提出物は完成した形で、期限を守って提出する。

4. 宿題・課題・再試について

- (ア) 宿題…1か月単位で出す。
- (イ) 課題…1単元終了ごとに、レポート作成を実施する。

5. 評価の基準について

課題の評価を中心として評価をつける。その他の基準としては宿題の提出状況とする。  
上記の課題は主にパフォーマンス評価の中に盛り込むこととする。

6. その他

初回の授業で指示する。

## 数学（2022年度）

単位数	4
担当	山口 貴史
教科書	数研出版 これからの数学2
対象生徒	中学2年生 必修

### 1. 授業の目標

文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりする能力を伸ばすとともに、連立二元一次方程式について理解し、それを用いる能力を養う。基本的な平面図形の性質について、観察、操作や実験を通して理解を深めるとともに、図形の性質の考察における数学的な推論の意義と方法とを理解し、推論の過程を的確に表現する能力を養う。具体的な事象を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を養う。また、具体的な事象について観察や実験を通して、確率の考え方の基礎を培う。

### 2. 副教材・参考書

数研出版     スタンダード問題集   2年  
 新学社       数学のベーシックマスター   2年

### 3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

予習のポイント:教科書の内容を読み、その単元の関係ある中学1年までの内容をしっかり復習し理解しておく。  
 復習のポイント:その日の授業で解いた問題を、もう一度解き、答え合わせをする。この勉強を毎日積み重ねることにより、確実な力を身につける。また、1つの単元が終わるごとに、問題集等でもう1度自分の理解・記憶を確かめることも大事である。基本的な学力が身についたら問題集の応用問題を数多く解き、数学的な応用力・思考力を身につくように努力する。

### 4. 宿題・課題・再試・評価について

M' Range Test は毎週課題を提出し、テストを行う。  
 宿題は、プリント、問題集など適宜出題する。  
 定期試験 50点(%)以下再試       50%の評価  
 学力試験 30%の評価  
 PH評価 Mレンジテスト 10%の評価 毎回の授業の振り返り5%       提出物 5%の評価  
 ※任意の上級問題の課題提出で振り返り点に加算する。

### 5. 評価の基準について

・単元末試験の得点(基本問題 80%、応用・初見問題 20%)、振り返り・提出物・小テストにより評価をする。以下の表のように観点別評価をつける。

	基本問題(単元末験)	応用・初見問題(単元試験)	振り返り・提出物・小テスト等
A	基本的な問題は概ね解くことができる。	高度な思考力を要する問題を解くことができる。	授業に意欲的に参加。課題にもしっかりと取り組んでいる。
B	基本的な問題が解くことができる。	知識を応用して問題を解くことができる。	多少遅れることもあるが課題に対して継続的に取り組んでいる。
C	基本的な事項・知識は理解している。	応用問題にも取り組む姿勢がみられる。	課題に取り組もうとしている意欲は感じられる。
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

	基本問題(単元末験)	応用・初見問題(単元試験)	振り返り・提出物・小テスト等
A	80%~100%	80%~100%	80%~100%
B	30%~80%未満	30%~80%未満	30%~80%未満
C	0%~30%未満	0%~30%未満	0%~30%未満
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

### 6. その他



年間指導計画				
学期	試験	授業時間	授業内容	指導内容・単元目標・備考等
第一 学期	①	4月 8時間	1章 式の計算 ① 式の計算	単項式と多項式の意味を理解し、乗法、除法の計算をすることができる。
	②	5月 5時間	② 文字式の利用	文字式を使って問題を解決し、目的に応じて等式を変形することができる。
	③	6月	① 連立方程式	いろいろな連立方程式の解き方を理解し、解くことができる。
	④	6月 8時間	② 連立方程式の利用	簡単な連立方程式の解き方を理解し、解くことができる。 連立方程式を利用し、具体的な場面における問題を解決する手順を理解する。
	⑤	7月 9時間	3章 1次関数 ① 1次関数	具体的な事象から1次関数の関係を見いだし、見いだした関係について理解することができ、1次関数の特徴を表、式、グラフでとらえる。
第二 学期	⑥	9月 6時間	② 1次関数と方程式 ③ 1次関数の利用	具体的な事象の中から二つの数量の間の関係を1次関数とみなして、変化や対応の様子を考察し、予測することができる。
	⑦	10月 9時間	4章 図形の性質と合同 ① 平行線と角	平行線の性質や多角形の角についての性質を考察し、説明ができる。
	⑧	11月 5時間	② 三角形の合同 ③ 証明	三角形の合同条件を基にして、平面図形の性質を見いだし、それが論理的に確かめることができるようにする。
	⑨	12月 7時間	5章 三角形と四角形 ① 三角形	三角形の合同条件を理解しそれに基づいて三角形や平行四辺形の性質を論理的に確かめることができるようにする。
第三 学期	⑩	1月 10時間	② 四角形	長方形、ひし形、正方形の関係を理解し、面積を変えずに図形の変形をすることができる。
	⑪	2月 6時間	6章 データの活用 ①データの散らばり ②データの傾向と調査	四分位数や四分位範囲の必要性和意味を理解し、データの値を求めたり箱ひげ図をかくことができる。
	⑫	2月 6時間	7章 確率 ①確率	あることからの起こりやすさを数値化することを通して、統計的な確率と数学的な確率の意味を知ることができる。

## 社会(2022年度)

単位数	3単位
担当	上戸
教科書	社会科中学生の地理(帝国書院) 中学校社会科地図(帝国書院) 中学社会歴史未来をひらく(教育出版)
対象生徒	中学2年

### 1. 授業の目標

#### 【地理】

- ・日本列島の自然・産業を見渡し、世界における日本の位置づけを理解する。
- ・身近な地域の自然や産業を通し、地理的な視点で地域をとらえられるようにする。
- ・グラフや表の読み取りを通じ、客観的な視点を持ち、読み取ったことを表現できるようにする。

#### 【歴史】

- ・世界の歴史を背景に日本の歴史の大きな流れを理解する。
- ・歴史についての学び方や考え方を身につけ、多面的・多角的な見方ができるようにする。

### 2. 副教材・参考書

- ・アドバンス 中学地理資料 (帝国書院)
- ・アドバンス 中学歴史資料 東京都版(帝国書院)

### 3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

社会の授業内容は話の内容が分かるととても面白いものです。分からないことをそのままにしておくと、少しずつ話に付いていけなくなってしまいますので、些細な疑問や、気になったことは気軽に何でも聞いてください。皆さんに授業を楽しんでもらえるように精一杯、丁寧に説明をしていこうと思っています。たくさん文字を書くよりも、色々と会話を通して学んでもらえればと思っていますので、1年間よろしくお祈いします。

### 4. 宿題・課題・再試について

- ・長期休暇や授業の内容によって、課題や調べ学習の宿題が出される。適宜、小テストを実施する。
- ・単元テストの結果が50点未満の場合は再試を受験しなければならない。再試に代わる課題を課す場合もある。

### 5. 評価の基準について

- ・単元テストの平均点(50%)、外部試験(30%)、パフォーマンス評価(20%)により評価をする。
- ・以下の表のように観点別評価をつける。

	単元テスト 基礎問題	外部試験 応用問題	課題・発表・提出物 パフォーマンス
A	基本的な問題を概ね解くことができる(得点率80%~100%)	資料の読み取りや記述問題に対する解を、的確に表現できる(得点率80%~100%)	授業やグループワーク、課題等に積極的に取り組み、自分自身の考えを伝えることができる
B	基本的な問題を解くことができる(得点率80%未満~30%)	資料の読み取りや記述問題に取り組むことができる(得点率80%未満~30%)	授業やグループワーク、課題等に協力し、活動ができる
C	基本的な問題を理解する努力を要する(得点率0%~30%未満)	資料の読み取りや記述問題に向き合う姿勢が見られる(得点率0%~30%未満)	授業やグループワーク、課題等に参加し、活動ができる
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

### 6. その他

- ・授業計画は予定であり、変更することがある。

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	期末	<p><b>【歴史】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天下統一を目指して</li> <li>・近世社会への幕開け</li> <li>・城と茶の湯</li> <li>・泰平の世の土台づくり</li> <li>・東南アジアに広がる日本町</li> <li>・開かれた窓</li> <li>・身分ごとに異なる暮らし</li> <li>・将軍のおひざもと、天下の台所</li> <li>・花開く町人文化</li> <li>・連判状にまとまる人々</li> <li>・繰り返される政治改革</li> <li>・「読み・書き・そろばん」の習い</li> </ul> <p><b>【地理】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本のさまざまな地域（地形、気候、自然災害など）</li> <li>・日本の人口、資源、エネルギー、産業</li> </ul>
二学期	期末	<p><b>【歴史】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近代の幕開け</li> <li>・王は君臨すれども統治せず</li> <li>・代表無くして課税なし</li> <li>・「世界の工場」の光とかげ</li> <li>・強大な国家を目ざして</li> <li>・御政事売り切れ申し候</li> <li>・近代の日本と世界</li> <li>・万機公論に決すべし</li> <li>・人民に上下の別なき</li> <li>・学問は身を立てるの財本</li> <li>・ザン切り頭をたたいてみれば</li> </ul> <p><b>【地理】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の産業のつづき</li> <li>・日本の交通網・通信網</li> <li>・さまざまな地域区分</li> <li>・日本地誌（九州地方、中国・四国地方、近畿地方）</li> </ul>
三学期	学年末	<p><b>【歴史】</b></p> <p>智識を世界に求めて  民撰議院を開設せよ  憲法の条規により之を行う  対等な条約を求めて  朝鮮をめぐる戦い  「眠れる獅子」に迫る列強  列強との戦い  変わりゆく東アジア</p> <p><b>【地理】</b></p> <p>日本地誌  （中部地方、関東地方、東北地方、北海道地方）</p>

## 理科（2022年度）

単位数	4単位
担当	菱山
教科書	未来へひろがるサイエンス（啓林館）
対象生徒	中学2年生

## 1. 授業の目標

科学的現象についての実験・観察を行い、自然に対する関心を高め、基礎知識を身につける。

## 2. 副教材・参考書

新ワーク理科2（好学出版）

## 3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

授業後にその日学習した内容について、教科書・ノートを見直し、復習をする。

副教材のテキストを解き、基礎用語を確認し、応用問題で分からないところは質問をする。

## 4. 宿題・再試について

宿題：定期的な問題集を宿題として出す。提出状況をパフォーマンス評価の対象とします。

長期休暇には、別問題集やレポートなどを宿題として出します。

再試：単元別（まとめ）試験の点数が基準に満たない場合、再試験や課題を行います。

## 5. 評価の基準について

・定期試験(50%)、学力試験(30%)、パフォーマンス(20%)により評価をする。

・以下の表のように観点別評価をつける。

	知識・技能 基本問題(定期試験)	思考・判断・表現 応用問題(学力試験)	主体的に学習に取り組む態度
A	基本的な問題を概ね解くことができる。(得点率80%~100%)	高度な思考力を要する問題を解くことができる。(得点率80%~100%)	授業に意欲的に参加。課題にもしっかりと取り組んでいる。
B	基本的な問題を解くことができる。(得点率30%~80%未満)	知識を応用して問題を解くことができる。(得点率30%~80%未満)	多少遅れることもあるが課題に対して継続的に取り組んでいる。
C	理解する努力を要する。(得点率0%~30%未満)	継続的な学習を要する。(得点率0%~30%未満)	主体的に参加する態度を要する。
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

## 6. その他

授業計画は予定であり、授業が早く進む場合がある。早く終わった場合は既習範囲の復習を行う。

授業計画		
学期	試験	授業内容
一学期	単元①	[化学] 化学変化と原子・分子 1章 物質の成り立ち 2章 物質の表し方
	単元②	3章 さまざまな化学変化 4章 化学変化と物質の質量
	単元③	[生物] 生物の体のつくりとはたらき 1章 生物の体をつくるもの 2章 植物の体のつくりとはたらき
二学期	単元④	3章 動物の体のつくりとはたらき 4章 動物の行動のしくみ
	単元⑤	[物理] 電流とその利用 1章 電流の性質
	単元⑥	2章 電流の正体 3章 電流と磁界
三学期	単元⑦	[地学] 地球の大気と天気の変化 1章 地球をとり巻く大気の様子 2章 大気中の水の変化
	単元⑧	3章 天気の変化と大気の動き 4章 大気の動きと日本の四季

英語(2022年度)

単位数	6単位
担当	斉藤、キム
教科書	Here We Go(光村出版)
対象生徒	中学2年

1. 授業の目標

- (1) 教科書の表現を利用して、自分の言葉で身の回りのことを表現できる英語力を身に着ける。
- (2) 自分に必要な課題を設定して、自ら学ぶ姿勢を養成する。
- (3) 教科書の内容を何度も繰り返し、聞く・書く・話す・読むことによって、中学英語の定着を図る。

2. 副教材・参考書

教育開発出版 Key ワーク英語2年  
 正進社 New Listening Plus 2  
 NHK ラジオ 中学生の基礎英語レベル2

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

予習のポイント：各 Unit の内容を音声で聞いて、音声から内容を理解する。  
 復習のポイント：その日にならった Unit の内容を何度も聞いたり、音読する。暗唱できるぐらい音読することが英語力の土台を築くために重要である。  
 また、英語は日頃から自分で楽しく自己学習できる学習方法を模索することが大切なので、English Marathon という自己学習記録表を活用して、日々楽しみながら英語学習方法を継続できるように工夫をする。

4. 宿題・課題・再試・評価について

- ・E' Range Test は隔週1回程度実施。70点以下の者は再試をする。
- ・宿題は、音読・ワークブック・ライティング等を適宜課題として出す。
- ・単元テストは結果の50%未満は再試あり。

5. 評価の基準について

- ・単元テスト(50%の評価)、学力試験(30%の評価)、パフォーマンス評価(20%)により評価する。  
 パフォーマンス評価は英会話の授業での発表が10%の評価、提出物が10%の評価となる。
- ・以下の表のように観点別評価をつける。

	基本問題(定期試験)	応用問題(定期試験・発表)	パフォーマンス(提出物・小テスト等)
A	基本的な問題は概ね解くことができる。	高度な思考力を要する課題・問題に対応できる。	授業に意欲的に参加。課題にもしっかりと取り組んでいる。
B	基本的な問題が解くことができる。	知識を応用して課題・問題に取り組むことができる。	多少遅れることもあるが課題に対して継続的に取り組んでいる。
C	基本的な事項・知識は理解している。	授業を応用した課題・テストにも取り組む姿勢がみられる。	課題に取り組もうとしている意欲は感じられる。

6. その他

- ・English Marathon(学習記録表)を課す。自分にとって必要な英語課題を探して、毎日継続すること。

授業計画		
学期	単元テスト	授業内容 (教材)
一学期	4月 単元テスト1	Round 1&2 Unit1~Unit8 までリスニングと文字と音声の一致 教科書本文のおおまかなストーリー理解が目標。繰り返し教科書本文の内容を聞き、それぞれの Unit のストーリーの概要や登場人物の特徴などを捉えることができる。
	5月 単元テスト2	Round3&4 Unit1 音読と教科書の内容定着 様々な活動を通して繰り返し音読をして、Unit1&2 本文の新出単語や本文の定着を図ることが目標。ここで、文法やライティング活動も取り入れる。
	6月 単元テスト3 単元テスト4	Round3&4 Unit2&3 音読と教科書の内容定着 様々な活動を通して繰り返し音読をして、Unit1&2 本文の新出単語や本文の定着を図ることが目標。ここで、文法やライティング活動も取り入れる。
	7月 まとめの単元 テスト	単元テスト1~4の内容をまとめるテスト。
二学期	9月 単元テスト4	Round3&4 Unit4 音読と教科書の内容定着 様々な活動を通して繰り返し音読をして、Unit3 の本文の新出単語や本文の定着を図ることが目標。ここで、文法やライティング活動も取り入れる。
	10月 単元テスト5 単元テスト6	Round3&4 Unit5&6 音読と教科書の内容の定着 様々な活動を通して繰り返し音読をして、Unit4 の本文の新出単語や本文の定着を図ることが目標。ここで、文法やライティング活動も取り入れる。
	11月 単元テスト7	Round3&4 Unit7 音読と教科書の内容定着 様々な活動を通して繰り返し音読をして、Unit5 の本文の新出単語や本文の定着を図ることが目標。ここで、文法やライティング活動も取り入れる。
	12月 まとめの単元 テスト	単元テスト4~7の内容をまとめるテスト。
三学期	1月 単元テスト8	Round3&4 Unit8 音読と教科書の内容定着 様々な活動を通して繰り返し音読をして、Unit5 の本文の新出単語や本文の定着を図ることが目標。ここで、文法やライティング活動も取り入れる。
	2月 単元テスト9	Round5 Unit1~8 のリテリング Round4 までに何度も触れてきた教科書本文の内容を自分の言葉で説明することが目標。自分で話した内容のライティング活動も行う。
	3月 まとめの単元 テスト	単元テスト7,8の内容をまとめるテスト

保健体育(2022年度)

単位数	3単位
担当	樋口
教科書	最新中学校保健体育(大修館)
対象生徒	中学2年

1. 授業の目標

運動の楽しさや喜びを味わい、基本的な技能を身に付ける。運動を通して体力の向上を図る。  
 競走や協同の経験を通して公正さ・協力性・自分の役割を知ること等を育てる。  
 生涯を通しての健康の大切さを学ぶ。

2. 副教材・参考書

ステップアップ中学体育(大修館)

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

ケガのないように準備運動をしっかりと行う。説明をしっかりと聞き、安全を第1に考える。

4. 宿題・課題・再試について

各運動における競技施設やルールについて調べ学習をおこなう。

5. 評価の基準について

- ・保健の定期試験(40%)、実技試験(40%)、課題提出(20%)により評価をする。
- ・以下の表のように観点別評価をつける。

	実技試験	保健試験	パフォーマンス(提出物・小テスト等)
A	80%~100%	80%~100%	80%~100%
B	30%~80%未満	30%~80%未満	30%~80%未満
C	0%~30%未満	0%~30%未満	0%~30%未満
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

6. その他

授業計画(保健)		
学期	試験	授業内容(教材)
一学期	期末	調和のとれた生活 健康の成り立ち 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康 心身の発達と心の健康 体の発育・発達 呼吸器・循環器の発育・発達 生殖にかかわる働きの違い 性への関心と行動
二学期	期末	知的機能・上位機能の発達 社会性の発達と自立 自己形成 欲求とその充足 心と体のかかわりとストレス ストレスへの対処のしかた 生活習慣の健康への影響 生活習慣病 生活習慣病の予防 がんとその予防
三学期	学年末	生活習慣病・がんの早期発見とその回復 喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康 喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけと対処

授業計画(体育)		
学期	試験	授業内容(教材)
一学期	実技	スポーツテスト 50M走・ハンドボール投げ・立ち幅跳び 体育祭種目練習 水泳 クロール・平泳ぎ
二学期	実技	バスケットボール ドリブル・パス・シュート チェストパス ドリブルシュート レイアップシュート ゲーム 持久走 グラウンド3周・5周
三学期	実技	創作ダンス グループ分け・選曲・創作、発表会 縄跳び 縄跳び検定

音楽(2022年度)

単位数	1.5 単位
担当	加瀬智子
教科書	中学生の音楽 2, 3 上 (教育芸術社)
対象生徒	中学 2 年

1. 授業の目標

音楽活動を通して、表現の能力を高めるとともに、音楽を愛する心を育む。音楽の構造に関心を持ち、主体的に表現を工夫して取り組む。鑑賞を通して、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

2. 副教材・参考書

中学生の器楽(教育芸術社)

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

合唱、合奏はクラスで一つのものを作り上げることを主とするので、授業では指示や説明をしっかりと聞き、集中するよう心がける。(授業準備なども含む)

実技(歌唱、リコーダー)の上達に向けて、積極的に授業に参加することが望ましい。

プリント類などの提出物は期限内に提出する。

授業内筆記テスト前には確認プリントを復習してから受験する。

歌唱や器楽の練習の参考になる音源や動画を使い、授業の振り返りを行う。

4. 宿題・課題・再試について

授業中に終わらなかった課題は宿題とする。

5. 評価の基準について

学期毎に授業内で筆記テスト(小テスト)と実技テスト(歌唱、リコーダー)を行い、実技テストを重視する。実技試験の評価基準は、指導の中であらかじめ生徒に伝える。

以下の表のように観点別評価をつける。

	筆記テスト、 実技(歌唱、リコーダー)	実技(歌唱、リコーダー) 鑑賞	授業に対する取り組み方 課題、提出物
A	80%~100%	80%~100%	80%~100%
B	30%~80%未満	30%~80%未満	30%~80%未満
C	0%~30%未満	0%~30%未満	0%~30%未満
	知識、技能	思考、判断、表現	主体的に取り組む態度

6. その他

授業計画は予定であり、内容が変更となる場合がある。

授業計画		
学期	試験	授業内容(教材)
一学期	期末	歌唱 夢の世界を、翼をください 鑑賞 交響曲第5番ハ短調 楽典 音符、休符について、音名 授業内実技試験と筆記試験
二学期	期末	器楽(アルトリコーダー) オーラリー、アニーローリー 歌唱 夏の思い出、荒城の月、サンタ ルチア 仏教聖歌(道元禅師賛歌、成道会の歌、四弘誓願文) 鑑賞 フーガト短調、オペラ「アイーダ」から 授業内実技試験と筆記試験
三学期	学年末	器楽(アルトリコーダー) カノン3、威風堂々 合唱 音楽発表会に向けて 鑑賞 歌舞伎「勸進帳」 創作 リズムアンサンブル 授業内実技試験と筆記試験



## 美術（2022）

単位数	前期 2 単位・後期 1 単位
担当	石塚雅子
教科書	美術 2・3 光村図書
対象生徒	中学 2 年

### 1. 授業の目標

美術の活動を通じて表現の能力を高めるとともに、美術を愛好する心を育てる。美術に関心を持ち、主体的に表現を工夫して取り組む。美術のよさや美しさを味わえるようにする。

### 2. 副教材・参考書

- ①「自然から学ぶ」1.2.3 佐藤忠良 他 著（現代美術社）
  - ②「美術・その精神と表現」佐藤忠良 他 著（現代美術社）
  - ③「少年の美術」佐藤忠良 他 著（現代美術社）
- 他、画集、美術書。歴史・宗教・哲学・文学書。DVD

### 3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

常に制作への意欲を持ち続けられるように、無用な緊張は解きほぐし、それと同時に依存させすぎず自律を促しながら、各人の良さを最大限に引き出すようにアドバイスしていく。

### 4. 宿題・課題について

- ・提出日まで完成しなかった作品は宿題とする。提出期限は概ね 2 週間前後とする。
- ・長期休暇に美術鑑賞のレポートと実技課題を課す。

### 5. 評価の基準について

	実技	鑑賞	授業に対する取り組み方、課題、提出物
A	80%～100%	80%～100%	80%～100%
B	30%～80%未満	30%～80%未満	30%～80%未満
C	0%～30%未満	0%～30%未満	0%～30%未満
	知識、技能	思考、判断、表現	主体的に取り組む態度

### 6. その他

- ・実技の課題と繋げながら鑑賞の時間を設ける。図書館の蔵書、写真、映像で名作に触れる。
- ・よい展覧会を積極的に紹介する。

※新型コロナウイルス感染拡大防止の自宅学習に合った課題として内容を適宜検討しながら、よりよい授業を進める工夫をする。

学期	単元	授業内容
一学期	絵画	1 絵画・風景に思いを重ねて写生・素描と着色 教科書 2・3P6. 7. 8. 9
	工作	2 神仏の仮面と出会う、張り子による表現 教科書 1 P56. 57, 教科書 2・3P84. 85 素材の可能性 P66. 67 あかりが作る空間
	鑑賞	3 仏教と日本美術
二学期	絵画	4 鳥獣戯画模写 教科書 2・3P22. 23 墨で書く楽しさ P36. 37 鳥獣戯画
	アニメーション	5 動く絵アニメーション, パタパタ漫画 教科書 2・3P38. 39
三学期	鑑賞	6 世界のアニメーション DVD
	デザイン	9 生活を彩る模様 平面構成・模様、飾りの小宇宙 教科書 1 P40～43

## 技術・家庭(2022年度)

単位数	2単位
担当	八木
教科書	新 技術・家庭(教育図書)
対象生徒	中学2年

### 1. 授業の目標

- ・衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。
- ・私学としての特色(仏教教育)に基づいた食育「大切な命をいただく」ということについて、また、自然と人との調和などについて探求し、より深く理解する。

### 2. 副教材・参考書

- ・アイセック ショルダーバッグ
- ・間取り図模型製作
- ・衣服のしみ抜き実験

### 3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

#### 【食生活分野】

- ・食べることの意味について考え、食品を選ぶ能力を身につけるとともに安全で衛生的な調理技術を学び、健康な食生活をおくるための知恵を養う。

#### 【衣生活分野】

- ・衣服の選び方や既製の表示の意味、手入れ方法など基本的な知識だけでなく、衣服を快適に着用するための技術を学ぶ。

#### 【住生活分野】

- ・自分と家族の健康に配慮した住生活をおくるためにできることについて考え、住みよい環境と安全についての理解を深める。

### 4. 宿題・課題・再試について

#### 〈 課題 〉

- 1学期：しみ抜き実験レポート、基礎縫い、被服製作レポート、ショルダーバッグ
- 2学期：食料自給率レポート、いのちをいただくということについてのレポート
- 3学期：間取り模型、住まいの安全についてのレポート

### 5. 評価の基準について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	よく理解できている	特に素晴らしい	非常に積極的な態度がうかがえる
B	概ね理解できている	概ねできている	積極的な態度がうかがえる
C	理解する努力を要する	努力を要する	主体的に参加する態度を要する

### 6. その他

進捗状況により、パフォーマンス評価基準など変更することがある。

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	被服製作作品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の選択と購入 既製服の表示と手入れ方法について</li> <li>・衣服の手入れ 〔実習〕しみ抜き実験</li> <li>・被服製作 被服実習における事前確認 ミシンや道具の扱いについて 被服の立体構成を学ぶ ショルダーバッグ製作</li> </ul>
二学期	試験 80% 課題 20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の選択と購入 生鮮食品の見分け方 加工食品の選択と購入</li> <li>・食品の保存と食中毒の予防 食料自給率の問題点について いのちをいただくということについて考える 食中毒の原因と予防法</li> <li>・調理の基礎について 調理器具・食材の切り方・計量・加熱調理の種類と方法</li> <li>・地域の食文化</li> <li>・和食の調理</li> </ul>
三学期	試験 80% 課題 20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住生活 住まいの働き 家族の生活と住まい方 健康を守る室内環境を考える 家庭内事故から家族を守る</li> <li>・生活行為と住まいの空間 住まいの働き 模型を使い、住みよい理想の間取りを考える。</li> </ul>